



大阪市子ども会 いくせい

大阪市子ども会育成連合協議会
73号

発行者 中山 良明
平成22年10月5日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel:6941-1116 Fax:6943-8906

新任のご挨拶

会長 中山 良明



◎◎◎◎◎
地域の「子どもたちは地域全体で育てる。
子ども会は、異年齢の遊び体験を活動主体とする。
地域の大人は、全てが子ども会の育成者となる。
「子どもの手による子ども会」を目指す。

で育てる」という子ども会本来のあり方とする、その原点に立ち返って子ども会活動を改めて広く各地に発信することが、求められているのではないかでしょうか。

国際化・IT化の進展・少子化・高齢化は企業だけでなく、子ども会を取りまく諸条件も大きく変わり新たな対応が求められています。

少子化によって会員数が減少し、子ども会活動に精彩がなくなり「異年齢での遊び集団」がつくれない子ども会も多くあります。

単位子ども会にしても活動や遊びの根拠といえる場所もなく、「こどもたちが自ら積極的に参加するための環境条件を今一度整え「こどもの手による子ども会」の実現に向かって、中学生リーダーやジュニアリーダーの養成にも力を傾注しなければなりません。

この度、大阪市子連会長の大役を仰せつかり気を引き締め、微力ですが子ども会の原点に立ち皆様方とともに精一杯頑張る所存です。

発足以来「子ども会原点」の変わらない考え方として次を上げています。これらは「地域の子ども達は地域全体

社会体験・自然体験を通して人間関係や、思いやり・やさしさ・協調性・自立性など豊かな心が育まれていくのであって、知的学習や間接体験だけでは、人間性・社会性など育つことは出来ないでしょう。体験は多ければ多いほど、柔軟な思考と豊かな発想ができ知識を活用する創造性も育まれます。

こうした状況をしっかりと踏まえて、地域に密着した子ども会活動をおし広げていくことが私たちの責務であります。今後とも皆様方の御支援とご協力をいただきながら、努力してまいりたいと決意するところであります。

今後の大阪市子ども会育成連合協議会の諸活動に対しまして、なお一層の励ましとお力添えを賜りますようお願い申しあげまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

子どもたちは、仲間関係の遊びや人ととの繋がりの中で、生活体験・

「いのぼりの寄贈について」

毎年、「こどもカーニバル」に掲揚しています。

大阪府人形問屋協同組合様から寄贈するため受けた立派なこいのぼりを、平成二十二年四月十六日、住之江区内の粉浜幼稚園へ、進藤副会長と共に訪園いたしました。

当日は、雨天のため、館内にて園児に全員集合していただき、こいのぼりを壁いっぱいに貼り付けて見てもらい、大歓声のもと、寄贈式を終えました。

安全会運営委員長
森尾 具淳



『指定都市JL研修についての感想』

鶴見区ジュニアリーダー

親 義明

研修に行つてすごく良つたと思いました。友達も増えて、さらに人見知りな所があつたのですがこの研修で少しましになりました。けれどもつと意見を言えよかっただと思いました。みんなで協力をして、冒険すごろくなどのいろいろなゲームをして楽しかつたです、プレゼンションでは、あまりしゃべられなくて（しまった）と思いました。

とても楽しかつたのですが、別れるのがつらくて悲しくなりました。“また会いたいと思つています”



鶴見区ジュニアリーダー

亀岡岐

今回初めて指定都市JLに参加させてもらつて感じたことは、ちがういるということにまず気付きました。そしてある県では、大学生以上でもJLを続けやすいように、JLだけれどもボランティアと名をえてJLと共に活動している県があり、大阪もどうすれば大学生になつてもJLを続けてくれる人が少しでもいると私は思います。

今回の指定都市では、すべての人が楽しく積極的に参加していくように見えました。私は、名古屋にまた行きたいと思つています。

2年後の大坂の指定都市でも参加してもらつた人達に、大阪はいいところだな、また行きたいなと思つてもらえるよう頑張りたいと思つます。私が特に楽しかつたのは、指定都市に参加していた、いろいろな人と友達になり、その友達と指定都市に参加できたことです。もし来年も参加できるのであれば、また参加大会に活かせたらと思います。

最後に、指定都市のことを教えて

くださつた人、参加させてくださつた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです、本当にありがとうございます。



鶴見区ジュニアリーダー

石川 健介

僕は、今年初めてJLの指定都市に行きました。僕はもともと人前に出たり、初めて出会つた人にもよく話しかけるのでとても期待していました。名古屋に着くと、宿舎に向かう前に、3日間を共にする名古屋のスタッフさんと名古屋のJLさん達に出会い。まずは予想外のイントネーションや、初耳の言葉におどかされ

ました。全都市が到着する前から、名古屋のスタッフさんがレクリエーションをしてくださつて他の都市のJLと親睦を深めることができるまし

JLの全員が感謝の気持ちで作り上げた寄せ書きをスタッフさん達に渡したとき、スタッフさんやJLのみんなが感涙している」とに気付き、本当にこのメンバーで3日間すごせよかったです。



他の都市のJLさんはとてもフレンドリーでまるで昔どこかで出会った人かのように年齢差を通り越しわけ隔てなく接してくれました。宿舎には、テレビが1Fに1つしかなくつまらないものだと思っていましたがいざ自由時間になると夜遅くまで語ったり、さわいだりして誰一人テレビを見ていない人はいませんでした。

た一段と大泣きしたこともよく覚えています。

とても恣意的（しいてき）な意見ですが、大学生のルやスタッフとして参加していただいた方は、次回から参加が困難だと聞いています。しかし僕は今年出会った大切な仲間が来年会えなくなることを考えると非常に悔しいです。

できれば参加できなかつた、中学
生にこのかけがえのない思い出を作
ることができた、指定都市を経験し
てほしいという思いも込めて年齢層
を広げてより多くの人や年齢の人々に
参加してもらえたとと思いました。

『指定都市Jr.名古屋大会について』
鶴見区ジュニアリーダー 北地 秀
今回の名古屋大会を含めて私は、
指定都市に3回参加しました。1回
目の札幌市大会は指定都市大会とい
うのがどんなものかというのを得て
きました。2回目の北九州市大会で
は、指定都市大会に参加者としてど
のようにプログラムなどに参加する
のかというのを学びました。そして、
3回目となる名古屋市大会では、プ
ログラム進行などをしてくれるスタ

ツフさんの動きや流れなどを、手持ちのプログラムと照らし合わせながら観察をしていました。

と、学んだこと、良かったこと、悪かった事等々を参加してない人達に
書いた事等々を侏ニア・大人関係なく伝えていき
たいと思いました。

そのためには、どうしても大人の方の協力が必要になります。ご
協力の方よろしくお願ひします。

付き添いで一緒に来ていただいた
中山会長どうもありがとうございます。ございました。
した。またお世話になるときもある
と思いますが、その時はよろしくお願
願い致します。これで、私の感想文
を終わります。



『指定都市Jリ名古屋大会について』

鶴見図ジユニアリーダー

北坡秀

今回の名古屋大会を含めて私は、

だけが持つていてもしかたがないません。なぜならばジュニアは1人ではなく、10人、20人、それ以上の人數で活動するからです、その中の1人だけが得た物を持つっていても、周りの他の人になければ意味がありません。それで、私は今回の指定都市大会市で思いついたのは、指定都市大会に参加して、楽しかった事、見たこ

第37回大阪市各区子ども会対抗親善キックベースボール大会

7月11日・18日（雨天順延）の両

日に渡り大阪城少年野球場で、各区の代表が優勝を競い「第37回大阪市

各区子ども会対抗親善キックベースボール大会」を行いました。

感動したことは、最終キッカーが涙を潤ませ、監督の激励に気丈に応えキッカーサークルに向かっていつた姿が忘れられません。

これからも子どもたちのスポーツ育成に少しでも役立てるよう事業を推進して行きたいと思います。

最後になりましたが、大会にご協力頂いた各区理事・体育部長並びに各チーム指導者の皆様にお礼を申し上げます。

大阪市子ども会育成連合協議会
体育部長 榎 正勝

私たち、初めて市子連の、キックベースボール大会に出ました。去年は、区子連の大会で準優勝だったので市子連の大会には行けませんでしたが、今年は行けたのでうれしかったです。

一回戦を19対0で勝つて、次の試合にも勝つて、順調に勝ち進んでいきました。そして、決勝戦で生魂子供会と戦いました。

今まで、生魂子供会とは一勝二敗で負け越していました。最初は、勝っていましたが逆転され、最終回に同点にされましたが延長戦になつ

放優 出 子 ど も 会 区 勝 城 東

て、私たち子ども会が5点とつて勝利しました。

放出子ども会は市子連初優勝だつたので、すごくうれしかったです。

城東区 放出子ども会

主将 古賀 比奈子

準優勝 生魂子供会 天王寺区



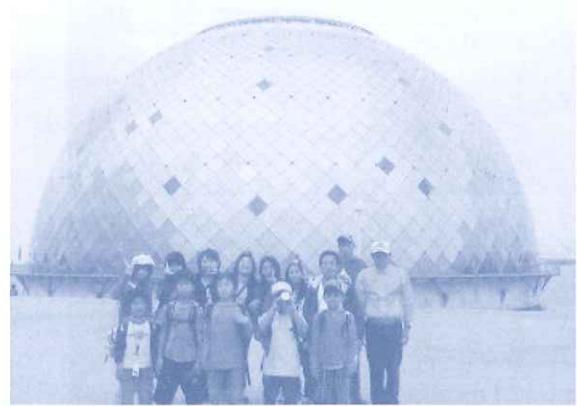
第三位 西都島連合子ども会 都島区



第三位 わかば子ども会 住之江区



西成区



西成区子ども会育成連合会
「子ども、保護者、育成者で、『子ども
の生命と安全を守る講習会』とし
て、なにわの海の時空館・南港野鳥
公園へ行つてきました。

今回の施設見学は「環境と命を考
える」をテーマに、海との関わりや
都会の中の自然を、実際に自分の目
で見体験する事にしました。当日は
インフルエンザ等の影響もあり予定
を割る人数でしたが、参加してくれ
た皆は、元気いっぱいでした。施設
を見学して帰ると、皆が撮った写真
をパソコンでA4サイズにプリント、
して写真展をする企画なので曇つて

いたのは少し残念でした。知らなか
つた事に触れるたびに大騒ぎで樂し
い時間になりました。帰つてからも
写真をプリントアウトするのに「こど
もたち自らが、マウスを握つてワイ
ワイ!大人も子どもも、自然と触れ
あうとともに、守つていかなければ
いけないと、実感する一日でした。



平野区

『第45回交通安全子供

自転車大阪府大会』に思う

平野区南連合子ども会

奥村 弘

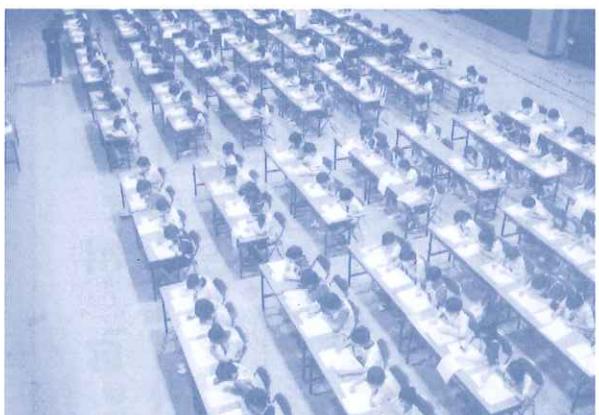
6月26日の土曜日に守口市
民体育館で開催された『第45回交通

安全子供自転車大阪府大会』に今回
初めて参加いたしました。

この大会は、小学校の児童を対象
として行われている『自転車安全教
室』の教育効果をより一層高めるた
め、競技を通じ児童に、交通につい
ての興味と関心を持たせるとともに、
交通安全の知識と技術を身につけさ
せ、習慣化を図ることで交通事故を
防止しようとするものです。

5月30日平野区大会で代表に決
まって以来、小学校の体育館で練習
を重ねてきた5名の選手たちは、受
付でゼッケンを貰い、早速、4階の
応援席へ向かいました。

見下ろす3階大体育室では、すでに
たくさんの選手が、実技コースの
下見をしていて緊張感が伝わって



いよいよ開会式も終わり試験が始
まりました。最初の学科試験は、ガ
ラス張りの部屋で大勢の大人に見ら
れながらの試験でした。次に安全走
行テストがあり、最後の技能テスト
では緊張のためか失敗し、目を真つ
赤にしている子どもいました。大阪
府下より選ばれた代表58チームの
選手達の真剣な態度に、我がチーム
も少なからず緊張していましたようです。

今回は入賞できませんでしたが、こ
の経験を今後の成長に役立ててほし
いと思います。

それから、私がビックリした事は、
子ども達に交通安全の知識が、全く
と言って良いほど無いことでした。
標識の意味を知らず、安全確認、歩
行者優先、弱者保護などの基本的な
ことさえ知りませんでした。警察の
皆様がこれほど熱心に取り組んでお
られる意味がこういうところにある
と分かりました。子ども達が交通事
故に遭わない為に、学校を中心につ
いた交通安全教育がさらに必要と痛感
しました。最後に、連日熱心に御指
導いただき、応援に駆けつけていた
だいた平野警察署交通課の皆さん、
有り難うございました。

阿倍野区



阿倍野区では、毎年『やまざとステイ』と名付けた、小学4年生から中学生3年生までを対象に二泊三日のキャンプを行っています、15年目を迎えた。今年は、国立若狭湾青少年の間作りの班ミーティングでキャンプファイヤーでのスタンツを考え、夜には若狭メノウをタイルに貼ってクラフトを作りました。一日目の朝は、カッターに乗りみんなで力を合わせ一生懸命最後まで漕ぎました。

昼からは待ちに待った海水浴です、海はとても澄んでいて小さな魚も見られました。夜のキャンプファイヤーでは、各班で考えたスタンツで盛り上がりました。三日目は、うどん作りです。細いものや太いもの、かたいものや柔らかいものなど色々でしたが、自分たちで作ったものをおいしそうに食べていました。この三日間で、色々なことを体験し、こどもたちにとって、良い思い出ができたのではないかと思います。これからも『やまざとステイ』を続けていくつもりです。



校庭キャンプ

東淀川区 豊新連合子供会

田中 博美

8月21日・22日、楽しい校庭キャンプを行い。PTAの皆さまや子ども会、青少年指導員会その他の役員さん達で何日も前から道具の下調べなどの準備で大変そうでした。今年は熱帯夜が長く続いたのでこども達の健康を考えて校庭のテントに泊まるることはせず、講堂に寝泊まりすることになりました、テント張りは練習として班ごとに上手に張ることができました。

そのあと肝試しでは大人もこどもも楽しそうでした。就寝時間になると大人は寝なさいといいますが、こども達は嬉しくて寝られるものではありません。私たち大人も経験があるのでよくわかります。翌朝は朝食を済ませた後、消防署の方々と暑い中、様々な体験させていただきました。

私も70歳にして、子ども会行事をたくさん的人に助けていただいたことを感謝して喜びを味わっております。皆さまありがとうございました。

東淀川区



今年も豊仁小学校のプールにて、毎年恒例の『わいわいプールサンデー』を開催いたしました。

当日は、快晴に恵まれ、100名近くの子どもたちが集まってくれました。真夏の太陽の下、子どもたちは、碁石拾いや水中二人三脚、自由遊泳などで水しぶきをあげ、最後は一丸となって波を作つたりと大はしゃぎで、子どもたちの元気な歓声がとびかい、とても賑やかな時間でした。



また、プールで思いきり体を動かし、おなかがすいたところで、手作り焼きそばとおにぎりをみんなで揃つて食べました。

来年は、校舎の建て替えのため、現在のプールでの開催は今年で最後となりましたが。

しかしこれからも子どもたちの笑顔と、終わったあの「ありがとう」や「ごちそうさま」という声がある限り行事を続けていきたいと思います。

此花 区

グレーブワーク発表

- ・役員は子どもと一緒に遊び、子どもを見ている事。
- ・市の事業助成費について十分に活用する。
- ・全子連の安全保険については「請求マニュアル」に添つた内容が絶対条件
- ・子ども数の減少で校下単位（合同）で登録の形をとっている。
- ・区子連は五十周年を迎えるネリ化を防ぐ。
- ・百芸塾をもう一度考え直そう。
- ・球技大会に親子ドッジボールをとりいれては？
- ・収穫祭は普段の手入れも親子の参加を。
- ・何をすれば子ども会（子ども達）は喜ぶのか。小学生の親が子ども会活動をしてくれるか。
- ・安全部、KYTの啓発をしていくため、教本を使って勉強会をする。
- ・他の行事とタイアップすればKYTの講習会ができる。
- ・文化協会に来てもらつて人形劇、手品の出前をしてもらう。

春日出老人憩いの家にて、木下区長、神宿館長、堀川次長、子ども会役員、単位理事31名の参加で実施されました。

大阪市子連会長中山良明氏を講師にお迎えし、岸指導研修部長の司会で、第一部「子ども会活動について」講演を行い。第二部「単位子ども会のこれから」についてグレーブワークを行いました。各グループで活発な意見が出され発表されました。

閉会後は中山会長を囲み、子ども会活動についてより一層深い話し合いました。



役員・部長	会長——中山良明
副会長	松本恵
副会長	進藤斗志代
副会長	河島民子
副会長	北川義彦
副会長	蔡正治
事務局長	小林照明
会計	中根信雄
常任相談役	西本和生
指導研修部長	斎藤淳
体育部長	榎正勝
文化部長	木村勉
安全対策部長	平安義之
広報調査部長	奥原正平
シニア・ジュニアリーダー	大庭平八郎
育成委員長	岡田誠二
鼓笛隊長	河島民子
会計監査委員	澤田喜代博
会計監査委員	水本義和
相談役	山本道昭
相談役	南光雄
相談役	大庭平八郎

第47回指定都市子ども会育成研究協議会 大阪大会

目的：地域における子ども会の指導、育成上の問題点を明らかにするとともに、望ましい子ども会活動の在り方や、問題解決の方法とその具体的な展開方法を考え、どう実践に結び付けて行くかを研究協議し、その結果を単位子ども会をはじめ、校区、区子連、市子連活動に反映させ、子ども会活動の充実振興を図る。

日 時：平成22年11月6日(土)～7日(日)

場 所：シェラトン都ホテル大阪

主 催：社団法人全国子ども会連合会・指定都市子ども会連絡協議会
大阪市子ども会育成連合協議会

後援会員委員会・大阪市・大阪府・厚生省・文部省・科学省・大阪市・大阪府・内閣厚生労働省

記念講演：講師：大阪ガス株式会社 人事部朝原宣治

第1部会 「市子連、区子連活動での、ルの養成と組織、役割、活動！」

— 指導者・育成者の減少をどうくい止めるか —

「子連で主力としている事業活動を考える」

—子どもたちがいきいきと活動

「運での研修活動を考える」

第4部会「赤子連・区子連での安全教育・安全対策の推進」

— 全国的に 事故多発な指宿都市 —

時間		9	10	11	12:00		13:00		14:00~15:20			15:30		17:30		18:30					
6日	1 日 目				受付	アトラクション	開会式	表彰式	記念講演	質疑応答	移動	部会協議	チエックイン	休憩	アトラクション	情報交換会					
時間		8:00	9:00		10:10	10:30~		11:00	11:30~												
7日	2 日 目	起朝	チエックアウト	ホテル出発	海遊館到着		閉会式	海遊館ホール		解散	“大阪を知ろう施設見学” 【海遊館】(入館料は大阪市子連負担) (手荷物は各自有料コインロッカーを利用ください)										
		床食																			